

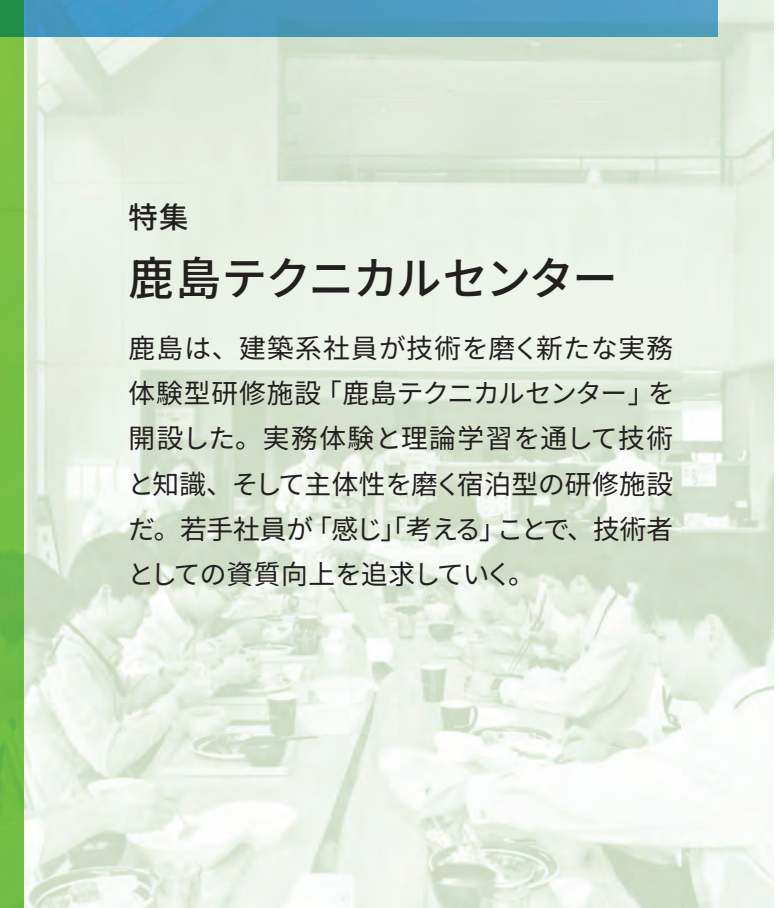
FEEL & THINK



特集

鹿島テクニカルセンター

鹿島は、建築系社員が技術を磨く新たな実務体験型研修施設「鹿島テクニカルセンター」を開設した。実務体験と理論学習を通して技術と知識、そして主体性を磨く宿泊型の研修施設だ。若手社員が「感じ」「考える」ことで、技術者としての資質向上を追求していく。



見て、触れて、体験する学びの場



東洋一高い建物として鹿島が1970年に施工した「世界貿易センタービルディング本館」の上棟梁を解体に伴い譲り受け、展示している

若手技術者育成の新拠点

鹿島の中興の祖である故・鹿島守之助会長が遺した「事業成功の秘訣二十カ条」。その中に刻まれた「人をつくらぬ事業は亡ぶ」という信念は、今も鹿島グループに受け継がれている。この言葉を体現する場として2023年に誕生したのが「鹿島テクニカルセンター」だ。鹿島建設をはじめとする鹿島グループの建築系若手社員が技術を磨き、建設業界の未来を担う人材を育成するための研修拠点である。

施設のメインコンセプトは「FEEL &

THINK」。五感で気づき、考え、行動することで、技術力だけでなく人間力も養う場となっている。また、この施設自体が最先端技術の実験場でもあり、鹿島が開発した環境配慮型コンクリートや、内装まで組み立てた居室ユニットを吊り上げて設置する「フライングボックス工法®」など、新工法が取り入れられている。新技術の詳細や施行中の動画は施設内に貼付された二次元コードから確認でき、社員が新たな知見を得られる仕掛けも施されている。



1階のトレーニングセンターにはモックアップのほかにワークショップスペースも設けられ、実務と座学を融合しながら学べる

理論の学習 × 実務の体験で技術を継承

施設の象徴ともいえるのが、1・2階吹き抜けのトレーニングセンターに設置されたリアルなモックアップ（構造物）*や設備機器。実際の建設現場を再現しており、さまざまな構造物のモックアップを配置している。ここでは研修生が鉄筋の組立てや安全管理教育を実際に体験し、資機材の重さや材質を実感することで、現場でのものづくりへの理解を深めている。

また、館内の設備はあえてさまざまな素材を用いて設計している。例えば、

手すりには実際に現場の仮設事務所で使用しているものを採用し、素材による感触や音の違いを実感できるよう工夫されている。鹿島テクニカルセンター開設時から研修生の成長を見守り続ける中地校長は、「館内には気づきを得るためのヒントが散りばめられています。何を感じ取るかは年次や経験によって異なりますが、訪れるたびに新しい発見や自信を得て、それを次のアクションにつなげてほしいです」と目を細める。



協力会社の熟練技能者などを講師に迎え、本物の資機材に触れながら実作業を体験する
※当施設では、基礎RC造・地上RC造・PCa造・S造の実物の一部を再現した構造物

研修生活のすべてを気付きの機会に



昼食・夕食メニューは
3種類から事前に選択し、
好きな場所で食事をとれる。



宿泊室には、部屋ごとに鹿島グループのかたばみが保有する北海道・尺別山林の4種の広葉樹を使用。それぞれの木の質感や香りによるリラックス効果が得られる。

研修生は1年次、3年次、5年次の技術系社員のほか、グループ内からも受け入れている。夜には年次を超えた懇親会が開かれることも。

交流と学びで育む人間力

鹿島テクニカルセンターのもう一つの大きな特長は、研修時間だけでなく、生活時間にも五感を刺激し、常に考える姿勢を促す工夫が凝らされているところだ。

1～2階の質実剛健なトレーニングセンターの雰囲気とは一転して、3～5階の「THE HOUSE」には木の温もりや緑、太陽光を感じられる心地よい空間が広がっている。宿泊室のほか、飲食や交流の場となる共有スペースが設けられ、宿泊室やダイニングの造作家具などには、鹿島やグループ会社が保有する山林で伐採した、香りや質感の異なる木材を使用している。

研修中は「自分で全部やる」という

考えのもと、食事の選択から食器の片付け、自由時間の使い方などを常に自分たちで考えながら行動していく必要がある。中地校長は、「建設のものづくりでは、確かな知識と人間力が求められます。ここは、全国の勤務地で活躍する同期入社の社員が集まり切磋琢磨し、先輩社員や講師と交流しながら学んでいく貴重な場です。この施設で過ごす時間が、ものづくりや建設業界の未来を支える力に生きてくると信じています」と期待を寄せている。

未来の技術者が新しい視点や感性を磨き成長し続ける場として、これからも重要な役割を果たしていく。



鹿島建物管理概要

管理開始：2023年1月
管理内容：設備管理、清掃、食事補助業務
管 轄：横浜支社

建築概要

施設名称：鹿島テクニカルセンター
所 在 地：神奈川県横浜市鶴見区
元宮 1-19-8
主要用途：事務所(研修所)
設 計：鹿島建設
施 工：鹿島建設
面 積：敷地面積 4,048.50 m²
延床面積 5,809.73 m²
階 数：地上5階
構 造：RC造一部S造、木造



1 中地校長の発案で、鹿島建物の管理事務所メンバーが鉄筋組立てを体験。普段の設備管理では見ることのない構造体の知見を広げる機会となった

2 電気や空調など、設備機器のモックアップも完備。実際に研修でも用いている

100年
をまもる対談

鹿島テクニカルセンター

鹿島建物

グループの連携で 新サービスに挑戦

鹿島テクニカルセンターでは、鹿島、鹿島建物、アクト・テクニカルサポート、One Team の4社を中心に協同で施設の運営を行っている。鹿島グループの連携で新たに挑む最新研修施設の立ち上げとこれからの展望を聞いた。

鹿島 テクニカルセンター
Kajima Technical Center



写真左より

鹿島建物総合管理
横浜支社 建物管理2部
鹿島テクニカルセンター
管理事務所
片山 修平

鹿島建設
建築管理本部 専任部長
鹿島テクニカルセンター
校長 中地 啓 様

鹿島建物総合管理
横浜支社 建物管理2部
鹿島テクニカルセンター
管理事務所
所長 平川 敦



新技術とサービスで研修生をサポート

中地様 当施設は2022年12月に竣工し、3か月の試運転を経て、2023年4月にオープンしました。鹿島には他にも研修施設がありますが、この施設には「個人として責任ある行動をとり、自分たちで全てをやる」という思いを込めています。例えば食事でも数種類のメニューから自分で決めて、配膳して片付ける。そんな自己管理の習慣を培う場です。

水野 私は立ち上げ時から担当していますが、鹿島建物では施設の設備管理や清掃のほか、研修生に提供する食事の補助業務を請け負っています。食事はセブン&アイ・フードシステムズ（現・デニーズジャパン）で調理されたものを取り寄せていますが、これまでにない新しいシステムを一から構築する挑戦でした。例えば、新入社員研修では80人が来るのが決まっていますが、研修によっては10人といった少人数の場合もあります。少人数の場合でも配送してもらえるのかなど、協力会社との折衝やチーム内での運用ルール作りが大変でした。

平川 現在の日常業務としては、アクト・テクニカルサポートさんが研修生への食事のサポートを、One Teamさんが研修や見学の予約管理と事務全般を行っています。

中地様 開設から2年が経ち、おかげさまで施設の稼働率は80%を超えています。今年の新入社員研修では80室の定員のところ、近隣ホテルも活用して120名を受け入れました。今年から鹿島グループ会社の研修も始まっており、利用者は増加の一途です。そのため、研修カリキュラムの見直しを行い、研修日数を短縮するなどして受け入れの体制を整えています。

平川 研修生の食事時間を30分ずらして運用するなど、フレキシブルに対応しています。最近では、大学生や企業、近隣の高校や中学校の見学も増えてオペレーションが複雑化していますが、各社のスタッフが緊密に連携することでミスなく運用することができています。

片山 予約業務や食事補助業務など、これまでにない業務を一からトライアンドエラーで構築してきたので、会社を超えてスタッフの仲が非常に良く、働きやすい環境が整っています。

中地様 居室のインロック対応や、チェックアウト後の忘れ物確認なども鹿島建物さんが迅速に対応してくれているので、私どもも研修生も大変助かっています。

片山 1年次に来た研修生が3年次にまた研修で戻ってきて、我々スタッフのことを覚えてくれていることがうれしいです。改めて、ホスピタリティの大切さを実感しました。「Heart&Technology」の精神を体現している現場だと思います。

平川 ここでは、ロボットやiPad、CAFM、サーモカメラ、ハイパースコープなどのデジタルツールを活用しています。また、鹿島建設さんと一緒に新しい建物管理技術にもチャレンジしています。技術だけでなく事業内容など、新しいことに積極的にチャレンジできる現場です。

片山 設備に関しても、この施設自体が意欲的な建物なので、例えば照明などはさまざまなメーカーのものを採用しています。その分、管理は難しいですが、やりがいがあります。

中地様 鹿島テクニカルセンターは今後さらに受け入れ人数が増えることが予測されますが、新しい挑戦を続け、引き続き施設運営にご協力をお願いします。若手社員の成長や社会貢献に寄与できる施設をめざしていきたいですね。



3



4

3 キッチンカーでできたての食事が運ばれてくる

4 研修生は自分の部屋番号の棚に置かれたおかずをピックアップし、自分でご飯を配膳する



一致団結してスムーズな施設運営

鹿島建物総合管理 横浜支社
小杉 成亜

アクト・テクニカルサポート
長倉 美登里

コウリョウ
佐藤 輝貴

アクト・テクニカルサポート
近田 裕子

コウリョウ
溝口 美香

鹿島建物総合管理 横浜支社
梅林 裕介

OneTeam
荷口 沙由里

鹿島建物総合管理 横浜支社
平川 敦

OneTeam
小沼 愛

鹿島建物総合管理 横浜支社
片山 修平

OneTeam
小野寺 悠里